

「河川技術・流域管理分野 流域課題」 (令和2年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
居住誘導浸水想定区域での市街地評価技術の確立とリスク対策事業の導入に関する研究	長岡技術科学大学 松川 寿也	A
<p><研究概要></p> <p>コンパクトシティ政策を担う立地適正化計画の策定都市では、その多くで居住誘導区域に浸水想定区域を含めて重複指定させている。本研究は、この重複指定区域に着目し、同区域を都市的優位特性、浸水リスク特性の双方の視点に基づく市街地評価技術を確立するとともに、そこに存在する家屋倒壊等氾濫想定区域での対応方策を検討する。これにより、都市計画行政と河川行政が連携した実現可能なコンパクトシティ政策のあり方を提言する。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。